

## 第1章 概要

<b>I はじめに</b>	
1 熊本市の都市像	1
2 日本一の地下水都市	1
3 上下水道局の役割	1
<b>II 総括</b>	
1 熊本市上下水道事業経営基本計画	2
2 平成25年度総括事項	4
(1)水道事業会計	
(2)下水道事業会計	
(3)工業用水道事業会計	
<b>III 上下水道局の主な取り組み</b>	
主な出来事	5
1 水道の整備推進及び機能保全	6
(1)水道施設整備実施計画	
(2)第6次拡張事業	
(3)第10次漏水防止実施計画	
(4)水質検査計画(毎年度策定)と水質検査	
2 下水道の整備推進及び機能保全	8
(1)公共下水道の整備(公共下水道の整備計画)	
(2)下水道の適切な維持管理と計画的な更新	
3 災害に強い上下水道の確立	9
(1)総合的危機管理体制の確立	
(2)地震対策の推進	
(3)浸水対策の推進	
4 環境に配慮した水循環社会の形成	10
(1)「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全	
(2)合流式下水道の改善	
(3)環境負荷低減策の推進	
5 お客さまを真ん中にした事業運営	11
(1)広報	
(2)お客さまの参画	
6 安定した事業経営	12
(1)水道事業会計の経理状況	
(2)下水道事業会計の経理状況	
(3)工業用水道事業の経理状況	
(4)上下水道局の組織と職員数	
<b>IV 業務指標</b>	
1 水道事業	14
(1)水道の普及に関する指標	
(2)水道施設・管路に関する指標	
(3)水道の維持管理に関する指標	
(4)水道事業における環境に関する指標	
(5)水道事業会計に関する指標	
(6)職員(水道事業会計支弁職員)	
2 下水道事業	20
(1)下水道の普及に関する指標	
(2)下水道施設・管路に関する指標	
(3)下水道の維持管理に関する指標	

- (4) 下水道事業における環境に関する指標
- (5) 下水道事業会計に関する指標
- (6) 職員(下水道事業会計支弁職員)

---

**3 上下水道事業共通** 26

---

- (1) 行政区域に関する指標
- (2) 災害に強い上下水道に関する指標
- (3) 水循環社会の形成に関する指標
- (4) 環境に配慮した事業運営に関する指標
- (5) 広報・広聴に関する指標
- (6) 職員に関する指標

## 第2章 水道事業統計

---

### I 熊本市水道事業の沿革

1 水道事業のあゆみ	31
2 拡張事業の推移	32
3 水道関連年表	38
4 水道事業主要指標総括表	46

### II 主要工事

1 建設改良工事の概況(1件5,000万円以上、税込)	51
(1) 施設改良事業	
(2) 水道施設整備事業	
(3) 第6次拡張事業	
2 その他工事	53
(1) 建設改良工事に伴う給水切替工事	
3 保存工事の概況	54
(1) 配水費における維持修繕	
(2) 給水費における維持修繕	

### III 水道施設

1 水道の普及状況	55
(参考) 住民基本台帳登録数に基づいて算出した給水人口等	55
2 水道施設総括表	56
3 機場	60
(1) 取水施設	
(2) 浄水施設	
ア 圧力式ろ過設備	
イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備	
ウ 紫外線処理設備	
(3) 送水施設	
(4) 配水施設	
ア 配水池施設	
イ 加圧配水施設	
ウ 配水池貯留能力	

---

**4 管路施設** 70

---

- (1) 口径別
  - ア 導水管布設延長
  - イ 送水管布設延長
  - ウ 配水管布設延長
  - エ 導・送・配水管布設延長
- (2) 管路に関する指標
  - ア 新設管路延長
  - イ 管路の更新
- (3) 送・配水管付属器具設置数

5	その他の施設	73
	(1)水運用センター関連設備	
	(2)主な水質検査機器	
	(3)地下水観測井	
6	水道施設位置図	75
7	配水系統図	77
8	熊本市上水道給水区域変遷図	81
<b>IV 水道の維持管理(取水・配水・漏水防止など)</b>		
1	水源地別年間取水量	83
2	系統別配水量	84
3	配水量の分析(年度別)	84
4	電力使用状況	86
	(1)水源地別電力使用量	
	(2)水源地別電力料金	
5	水質検査結果	90
6	水質基準不適合率	98
	(参考)平成25年度給水栓水質検査地点位置図	98
7	口径別調定状況	100
8	用途別調定状況	102
9	1人1日あたり生活用水量	102
10	漏水防止状況	104
11	配水管等管理関係工事	105
	(1)移設及び嵩上げ工事	
	(2)他工事	
	(3)維持工事	
12	鉛製給水管率	105
<b>V 給水装置・加入金</b>		
1	加入金改定の変遷	107
2	現行手数料	107
3	加入金口径別収入状況	108
4	手数料収入状況	108
5	給水装置工事受付状況	109
<b>VI 水道事業会計財務統計</b>		
1	経理状況	111
2	予算決算対照表	112
	(1)収益的収入及び支出	
	(2)資本的収入及び支出	
3	損益計算書	114
4	貸借対照表	116
5	性質別支出状況	118
6	経営分析	120
	(1)業務分析比率	
	(2)財務分析比率	
	(3)収益率その他	

### 第3章 下水道事業統計

<b>I 熊本市下水道事業の沿革</b>		
1	下水道事業のあゆみ	125
2	下水道法認可・都市計画決定の推移	127
3	全体計画	132
	(1)計画区域	
	(2)計画汚水量	
	(3)計画雨水量	

4	全体計画と事業計画	135
5	下水道関連年表	136
6	下水道事業主要指標総括表	140
<b>II 主要工事</b>		
1	建設改良工事の概況(1件5,000万円以上、税込)	143
	(1)管渠布設事業	
	(2)ポンプ場築造事業	
	(3)処理場築造事業	
	(4)管渠布設事業(雨水)	
2	保存工事の概況	150
<b>III 下水道の整備状況</b>		
1	下水道の普及状況と面積の推移	151
2	整備面積	151
3	処理区域面積	151
4	管きょ整備	151
5	都市下水路(雨水幹線)	152
6	ポンプ場	153
	(1)ポンプ場調書(平成25年度末)	
	(2)マンホールポンプ場調書(平成25年度末)	
7	マンホール数、汚水・雨水ます数	158
8	浄化センター	158
	(1)中部浄化センター	
	(2)東部浄化センター	
	(3)南部浄化センター	
	(4)西部浄化センター	
	(5)城南町浄化センター	
9	下水道施設位置図	165
10	熊本市公共下水道事業計画一般図	167
<b>IV 下水道の維持管理</b>		
1	下水道維持管理の概要	169
2	浄化センター・ポンプ場の施設機器更新率	169
3	下水道施設年間電力使用量	169
4	管渠	169
5	ポンプ場揚水量	170
6	年間処理水量・有収水量	171
7	年間汚泥発生量・処分量	172
8	平成25年度浄化センター水質検査結果	173
<b>V 排水設備・受益者負担金</b>		
1	受益者負担金制度	177
2	排水設備工事受付状況	177
3	受益者負担金及び分担金調定収納状況	177
4	受益者負担金の減免制度	177
5	受益者負担金の徴収猶予	178
6	受益者負担金減免及び猶予状況	178
7	私道内の公共下水道布設取扱	178
8	排水設備普及促進	179
	(1)水洗化の状況	
	(2)共同排水設備設置への助成	
	(3)改造資金の融資あっ旋及び利子補給	
	(4)生活保護世帯に対する助成制度	
	(5)排水設備工事店の届出及び指定	

9	特定事業場等の排除下水の水質規制	181
	(1)下水道法及び熊本市下水道条例に基づく下水排除基準	
	(2)平成25年度事業場立入水質検査実施状況	
<b>VI 下水道事業会計財務統計</b>		
1	経理状況	183
2	予算決算対照表	184
	(1)収益的収入及び支出	
	(2)資本的収入及び支出	
3	損益計算書	186
4	貸借対照表	188
5	性質別支出状況	190
6	経営分析	192
	(1)施設の効率化	
	(2)経営の効率性	
	(3)財政状況の健全性	

## 第4章 共通統計

<b>I 災害に強い上下水道の確立</b>		
1	(水道)災害対策用貯水施設	195
2	(水道)非常用発電・予備電力施設	195
3	(水道)耐震性貯水槽	196
4	(水道)応急給水設備	196
5	(水道)給水拠点密度	196
6	(水道)配水池耐震施設率	197
7	(水道)浄水施設耐震率	197
8	(水道)ポンプ所耐震施設率	197
9	(水道)耐震適合性のある基幹管路の割合	197
10	(水道)水道管路の耐震化率	197
11	(下水道)下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率	198
12	(下水道)下水道管きよの耐震化率	198
13	(下水道)浸水対策における重点6地区の対策率	198
<b>II 「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全</b>		
1	白川中流域水田を活用した地下水かん養事業	199
2	水道水をおいしいと感じる市民の割合	199
3	直結給水率	199
4	下水処理水の再利用	200
5	汚水処理率	200
6	合流式下水道改善率	200
7	高度処理人口普及率	200
8	甦る水100選(甦れ江津湖クリーン作戦)	201
<b>III 環境負荷低減策の推進</b>		
1	エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量	203
2	配水量1m <sup>3</sup> あたり二酸化炭素排出量	203
3	処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	203
4	水道施設における自然エネルギー発電量	203
5	汚泥の有効利用	204
6	下水汚泥消化ガス発電	204
<b>IV お客さまを真ん中にした事業運営</b>		
1	上下水道施設見学者数	205
2	出前講座等参加者数	205
3	ホームページ閲覧数	205
4	アンケート回答者数	206

5	パンフレット等の作成状況	206
<b>V 検針・水道料金・下水道使用料</b>		
1	検針状況	207
2	水道料金累積収納状況	207
3	下水道使用料累積収納状況	207
4	水道料金収納方法別調定件数	207
5	水道料金改定の変遷	208
6	共同住宅の料金	214
7	量水器	215
	(1)年度別設置数	
	(2)購入状況	
	(3)量水器出入庫管理状況	
	(4)隔測メーター設置状況	
	(5)量水器改良工事施工状況	
	(6)量水器使用料改定の変遷	
8	下水道使用料改定の変遷	217
<b>VI 組織・機構(平成26年3月31日現在)</b>		
1	機構図	221
2	事務分掌	222
3	職員数及び配置	225
4	勤続年数別職員構成	226
5	年齢別職員構成	226
<b>(参考資料)平成26年度の組織・機構(平成26年4月1日現在)</b>		
1	機構図	227
2	事務分掌	228
3	職員数及び配置	231
4	勤続年数別職員構成	232
5	年齢別職員構成	232

## 第5章 工業用水道事業統計

<b>I 工業用水道事業統計</b>		
1	工業用水道事業の概要	233
2	工業用水道事業の届出	233
3	業務指標	234
4	工事	234
5	料金	234
6	財務統計	234
	(1)予算決算対照表	
	(2)損益計算書	
	(3)貸借対照表	